

(ほう)こん

題字・清水英夫

GALAC・5月号・付録
2011年5月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL(03)5379-5521 / FAX(03)5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・橋本 隆

2011年3月22日、3月理事会が開催された。
1. 委員会活動報告
◇出版活動委員会 丹羽委員長
5月号編集。特集「ネット×テレビ時代、始まる」で順調に原稿は集まってきたが、3月11日の前と後では大きく状況が変わってしまった。そこで急遽、特集の巻頭記事は、ジャスミン革命から震災という未曾有の事態にソーシャルメディアがどのような役割を果たし、それがテレビにどのような影響したのかを検証するという方向に微調整した。
6月号は、「ケーブルテレビの地域力(仮題)」でGALACとして初めてケーブルテレビを取り上げる。表紙は調整中、ザ・パース

ンは、大根仁さん。
7月号は、ギャラクシー賞関連特集号。そして震災関連も検討する予定。
◇選奨事業委員会 小田桐委員長
いよいよギャラクシー賞の下期選考、そして最終選考の時期となった。
大震災という状況の中で応募作品の数がどう変化するか心配な部分もあるが、こんな時だからこそ良質な作品を顕彰できたらよいと期待している。
〈テレビ部門〉上滝委員長
3月8日締め切り分の応募作品数は101本。昨年同時期は77本だったので、増えている。現在選考委員に一次審査の視聴をしてもらっている。

審査基準は昨年末に披露したもので進める。なお「制作者と語る会」は予定通り4月23日で開催する(詳細4ページ参照)。
〈ラジオ部門〉桜井委員長
ラジオは締め切りが4月5日、審査スケジュールを決めた。最終審査は4月19日。評価基準に関しては大まかな点で一致を見た。
また、こんな時期の合評会なので、東京キー局と東北地域の局との共同制作の報道番組などもしっかり取り上げ検証していきたい。
twitterで、ギャラクシー賞のことが話題になっている。推薦情報が出たりしている。震災時にラジオの役割が再評価された結果とも言える。
〈CM部門〉入江理事
合評会を開催していない。
〈報道活動委員会〉碓井委員長
締め切り4月5日で募集中。そこに向けてという感じで選考基準の話し合いを続けてきた。それがまとまった。その基準に基づいて審査する(詳しく内容説明があった。詳細は略。全部門まとめて改めて公開する予定)。

好評だったシンポジウム ニコニコ動画の生中継も大成功 —3月理事会報告—

制作者と語る会 「地域発 テレビ・エンタテインメント」

主催 NPO放送批評懇談会
ギャラクシー賞選奨委員会(テレビ部門)
後援 日本大学芸術学部放送学科

ローカル局にドキュメンタリーの秀作が多いことはすでに知られていますが、エンタテインメントだって侮れません。東京キー局のそれとは一味違う番組が各地で放送されています。そこで、ギャラクシー賞選奨委員会テレビ部門では、北海道発と名古屋発のエンタテインメントを招待し、制作者の方にその思いの丈を語って頂くことにしました。

東日本大震災の今こそ、地域ならではの心のエールを受け止めようではありませんか。

日時：2011年4月23日(土) 13:00~17:45

場所：日本大学芸術学部 江古田キャンパス

対象：学生、一般 定員：100人(抽選の場合あり) 入場料：無料

参加方法：4月14日までに、web@houkon.jpまでメールをお送りください。件名に「制作者と語る会参加希望」、本文に参加者のお名前(1名)をご記入ください。希望者多数の場合は抽選し、4月15日にメールをお送りします。
(携帯電話から送られる方は、web@houkon.jpからのメールが拒否されないように設定下さい。)

●上映作品と制作者●

ドラマ「ミエルヒ」(HTB北海道テレビ放送) 藤村忠寿監督

—第47回ギャラクシー賞優秀賞、芸術祭賞優秀賞他—

バラエティー「鶴瓶のスジナシ」(CBC中部日本放送) 小森耕太郎プロデューサー

—笑福亭鶴瓶師匠が本番組他で第47回ギャラクシー賞個人賞受賞—

●プログラム●

13:00 主催者 あいさつ

13:10 HTB「ミエルヒ」上映(70分)

制作者トーク 藤村忠寿監督

15:10 CBC「鶴瓶のスジナシ」上映(60分版+30分版)

制作者トーク 小森耕太郎プロデューサー

17:10 藤村氏、小森氏交えて質疑

17:40 閉会あいさつ(17:45終了予定)

司会 川喜田尚(ギャラクシー賞テレビ部門副委員長)

●問い合わせ●

NPO放送批評懇談会

TEL 03-5379-5521 <http://www.houkon.jp/>

●会場アクセス●

西武池袋線 江古田駅北口より徒歩3分



以上の報告に関して、理事より特にラジオに關しての意見表明があった。それを受けて専務理事より、東日本の大震災という放送にとつても重大な時に際しての顕彰活動、前例にとらわれることのない視点からの顕彰も考慮してほしいとの意見表明があった。

◇企画事業委員会 藤田委員長

地震の3日前、3月8日に「ソーシャルメディア時代の放送」というテーマでシンポジウムを無事終えた。参加者264名。昨年より増加した。基調講演、特別講演もさることながら、セッションが大変盛り上がった。ディスカッションも論客が揃い中身のあるプレゼンテーションがなされた。アンケートの結果も好評であった。

3日後にソーシャルメディアが問われる事態となり感慨深い。ニコニコ動画の同時中継の試みも大成功で3万人が観たとのデータが出ている。当日参加した理事からも「大変面白かった」「議論がしみあひ盛り上がった」等の感想が出た。

また、何らかの方法で詳しい内容

を紹介することが出来ないかとの提案もされた。今後の検討課題。

◇マイベストTVプロジェクト 滝野理事

現在のWeb会員数は、483名。その内東北6県の方が20名いる。茨城の5名を含め、震災に遭われた方が26名。現時点では特段の確認は取っていない。

近々一斉メールを送る機会があるのでその時にお見舞いお悔やみの言葉を入れるつもり。そのお返事によっていろいろ分かんと思う心が痛み心配である。

市民の声を聞くというふうな活動を広げていくことによって初めてこういう被害に遭われた方々と放想が直に結びついていることを実感として感じた。

2. その他

①志賀信夫賞 橋本専務理事

選考委員会を開催した。会員の皆様に推薦をお願いした結果、17名の会員から29名の推薦があった。それに委員からの推薦を含め、選考した。候補者内定の段階である。ご本人のご意向等もう少し詰める必要がある。ので、発表は次回理事会とさせて

4月 4月26日(火)

5月 5月24日(火)

【出席】

音好宏、橋本隆、上滝徹也、小田桐誠、藤田真文、丹羽美之、桜井聖子、碓井広義、滝野俊一、飯田みか、石井彰、入江たのし、川喜田尚、嶋田親一、中島好登

会議記録

「3月」.....

22日 志賀信夫賞選考会、理事会
23日 (選奨) CM定例部会
29日 (選奨) ラジオ定例部会
31日 (選奨) テレビ月評会



☆ギャラクシー賞マイベストTV賞☆

2011年3月度の投票も始まりました！

ギャラクシー賞マイベストTV賞2011年3月度作品の投票を開始します。正会員の皆さまは、添付した 正会員専用 投票用紙 でマイベストTV賞の投票にご参加ください。

リスト以外の作品を記入できる欄もあります。ご活用ください。
ウェブまたは携帯サイトから参加の場合は、正会員専用のユーザー名ID、パスワードを使って投票ページに入ってください。
正会員の皆さまのご参加をお待ちしています！

マイベストTV賞
携帯サイト、
オープン中！
投票はこちらからも
できます

<http://www.houkon.jp/m>



いただきたい。

震災の影響と思われるが、今年は推薦が昨年より少なかった。来年はよろしく願いたい。

②ギャラクシー賞贈賞式に関して入江理事

選奨委員の皆さんの意見を集約した上で、先日演出面での打ち合わせを行った。

会場——変わらず。ウェスティンホテル東京・ギャラクシールーム、その周辺。

式の時間構成——開式を30分繰り上げて、16時30分開始。式は2時間構成(30分拡大)。

今まで1時間半を目指してきたが、実際問題として難しかった。かつ、選奨委員からの要望を入れて、今年から「マイベストTV賞」を「記念の宴」から「贈賞式」に戻すので、多少長くなるが止むを得ない処置と考える。

終了時間は従来通り。映像・音声の演出は従来通り。大幅変更は50回の時とする。

アナログ時代の終わりに当たりむしろ新機軸より今までの良さを出した。